



令和7年7月23日

海上保安庁

## 「海洋環境保全推進月間」における活動結果について ～未来の海のために、今できることを～

海上保安庁では、5月30日（金）から6月30日（月）までを「海洋環境保全推進月間」と定め、海事関係者等や若年層を含む一般市民に対して、全国各地で海洋環境保全に関する指導や啓発活動を重点的に実施しました。

また、地方自治体、小中学校、公益財団法人海上保安協会等と連携し、全国66か所の海岸等において、7,219人の方と海浜清掃を行い、これに併せて実施した漂着ごみ分類調査、海洋環境保全教室等を行うことで、未来の海を守る意識の醸成を図りました。

今後も、私たちの共通の財産である海を美しく保つため、「未来に残そう青い海」をスローガンに、広く指導・啓発活動を行うとともに、各機関と連携・協力し海洋環境保全につながる取組を推進していきます。

### 【海洋環境保全推進月間における活動結果】

訪船指導：1,228隻

訪問指導：272回

海洋環境保全教室：102回（参加人数 4,285名）

海洋環境保全講習会：36回（参加人数 3,005名）

海浜清掃：66回（参加人数 7,219名）

（漂着ごみ分類調査を含む）

漂着ごみ回収量：約3,425袋（30リットルごみ袋換算）

主な取組内容は、別紙をご確認ください。



訪船指導



海洋環境保全教室



海浜清掃



漂着ごみ分類調査

○ 訪船・訪問指導、海洋環境保全講習会等

船舶からの油の排出防止を呼び掛けるため、タンカーや漁船等に訪船し、作業時の適切なタンク計測、バルブの開閉確認、燃料漏油防止タンクの適切な設置などを指導したほか、マリーナや漁業協同組合等を個別に訪問し、油の排出防止や廃棄物の適正処理について指導を行いました。

また、海事・漁業関係者やマリンレジャー等を行う方々を対象に講習会を開催し、海洋汚染の現状、油の排出防止をはじめとした海上環境関係法令の遵守等に対する理解を図りました。

○ 海洋環境保全教室

幼児から中学生を対象に、参加者の年齢層に合わせて、環境紙芝居の読み聞かせ、環境クイズ、簡易水質検査等を実施し、海洋環境保全思想の普及を図りました。

○ 海浜清掃（漂着ごみ分類調査含む）

全国各地で一般市民の方々と海浜清掃を実施しました。

また、若年層を対象に、回収した漂着ごみの分類調査を実施することで、身近な廃棄物や海洋プラスチックごみが海洋汚染に結びついている現状を体感してもらったほか、ごみの不法投棄防止の呼びかけ等を行いました。



紙芝居の読み聞かせ



簡易水質検査



海浜清掃

○ 各種周知・啓発活動

地域ラジオ番組への出演、公共施設や屋内球技場・ショッピングモール等の集客施設におけるPR画像の掲示、「海ごみゼロウィーク」イベントへの参加等を通じて、海洋環境保全に係る意識の醸成を図るとともに、これらの取組を積極的にSNSに投稿し広く周知・啓発を行いました。



地域ラジオ番組への出演



屋内球技場大型スクリーンへの掲示



海ごみゼロウィークへの参加